

8月は電気使用安全月間です。安全ご担当者様必見！

Web
セミナー

第61回 電気関係事業安全セミナー

心理的安全性が守る現場力！

～失敗を恐れない組織のつくりかた～

昨年60回を迎えた本セミナー、今回は「心理的安全性」をテーマに展開します。昨年の鼎談などでも、制約が年々高まっている課題の中で話題にでた「心理的安全性」を取り上げて、さまざまなストレス環境への解決糸口をさぐります！

主催：電気安全全国連絡委員会（日本電気協会 内）
後援：経済産業省
電気事業連合会 （一社）送配電網協議会
（独）労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
（一社）電気設備学会
協賛：（株）電気情報社

基調講演（約40分）

パネルディスカッション（約120分）

安全最優先を現場にどう実現するか
～予兆の活用に焦点を当てて～



【基調講演・ファシリテーター】

宮城学院女子大学
学芸学部 心理行動科学科
教授 博士(文学)
大橋 智樹 氏



心理的安全性とアサーション
～職場でどう実現するか？～

ヒューマンエラー対策&仕事
の工夫・コツ研究所
代表 博士(心理学)
楠神 健 氏

なぜ、声にならない違和感が生まれるのか？
～職場に潜む認識的不正義とは～

株式会社東レ経営研究所
人材・組織開発部門長
チーフコンサルタント
福田 貴一 氏



受講料（税込）

33,000円

日本電気協会会員様10%OFF→ 29,700円

受講方法

専用のサイトにアクセスし、映像を視聴していただきます。

※おひとりにつき1つのID・パスワードが必要です。コンプライアンスの観点からも複数の受講者で共有することは固くお断りします。

なお、配信開始後の受講者の変更はできませんので、予めご了承ください。

※ご入金確認後、視聴開始日の数日前に各受講者へIDパスワードを記載したメールを送付します。

日時

2026/8/17(月)～9/30(水)

オンデマンド配信で期間中は何度でも繰り返し
視聴できます！

お申込み・ご入金締切日

2026/8/12(水) 視聴開始後もお申込みいただけますが、
視聴終了日は変わりませんのでご了承ください。

お申込み詳細はこちら



store.denki.or.jp

ウェブストアでは、低圧電気取扱特別教育など各種講習会や
書籍、電気安全ビデオの販売も行っております！

お問合せ先：EJA 日本電気協会 人材育成事業部 TEL:03-3216-0556 E-mail:web-semi@denki.or.jp
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館4階

基調講演 (約40分)

パネルディスカッション (約120分)

安全最優先を現場にどう実現するか — 予兆の活用に焦点を当てて —



【基調講演・ファシリテーター】

宮城学院女子大学
学芸学部 心理行動科学科
教授 博士(文学)
大橋 智樹 氏

「安全最優先」の大切さは誰でも知っています。とはいえ、現場では生産や品質、納期等のバランスが求められます。この難題を解決し、必要な場面で安全を最優先にできる組織づくりについて考えましょう。教育時、作業計画時、事故の予兆検知時など、それぞれの場面でどう「安全最優先」を実装するか？その具体策について深掘りします。

【パネリスト】



株式会社伏見電工 本社 常務取締役
峯友 昭幸 氏



株式会社アステム 専務取締役
西山 基広 氏

ほか1名予定

最新情報は随時ウェブ
ストアで更新して
まいります！
お申込み詳細は→から



講演 (約60分)

心理的安全性とアサーション — 職場でどう実現するか？



ヒューマンエラー対策 &
仕事の工夫・コツ研究所
代表 博士 (心理学)
楠神 健 氏

あなたは、おかしい・危ないと思った時、相手が上司や先輩であっても、声に出せますか。これが「チームで守る安全」のベースであり、その実現に必要なのが「チームの心理的安全性」と「メンバーのアサーション(しっかり声に出すこと)」です。本講演では、その実現のためのハードルとクリアのためのポイントについてお話しします。

講演 (約60分)

なぜ、声にならない違和感が生まれるのか？ — 職場に潜む認識的不正義とは



株式会社東レ経営研究所
人材・組織開発部門長
チーフコンサルタント
福田 貴一 氏

本講演で取り上げる「認識的不正義」とは、特定の人の知識や経験が正当に扱われず、意思決定から排除されてしまう状態を指します。「誰の声が通り、誰の声が置き去りになるのか」、その背景にある思考や構造、その影響などについて、ケース(事例)と共に考えてみたいと思います。

研究発表 (各30分予定)

“安全を創る”人材育成と現場力向上

安全教育の内容をいかにして腹落ちさせ、行動内容に結び付け、現場力を向上させてゆくか。なかなか安全教育が行動変容に結びつかない、といったお悩みを抱える安全担当者も多いと思われる中、その教育実践への参考として実際の取組事例を紹介いたします。

◆ 関電プラント株式会社 プラント安全品質部 次長 **坂本 浩 氏**

気づきのあるヒューマンエラー対策研修 (KP版ノンテクニカルスキル研修)

◆ 北海道電力株式会社 次世代エネルギー部

安全・カイゼン・技術教育センター グループリーダー **小野寺 満 氏**

危険を“体感”し、安全を学ぶ —北海道電力 安全・カイゼン・技術教育センターにおける危険体感研修の取り組み—

◆ほか1社予定